

1 関東地方の特徴

1) 関東地方の地形

関東地方は、日本列島の()部に位置する。日本で最も広い()平野があり、火山灰が積もってきた()におおわれた台地と、周辺の山地から流れる()川などの多くの川沿いにできた低地が広がっている。

2) 関東地方の気候

関東地方の気候は大部分が()側の気候に属している。
→梅雨や台風によって雨が多く、冬は乾燥した北西の季節風が吹き、よく晴れる。

3) 東京都の歴史

()世紀の初めに、関東地方には江戸幕府が開かれ、開発が始まる。
→()世紀ころには人口が()万をこえて世界有数の大都市になる。
→明治維新()世紀)によって、東京と名を改め、日本の()になりました。

4) 関東地方の特色

関東地方は、日本の7つの地方の中で面積が一番小さいにも関わらず、()は最も多く、()が高い。首都東京を中心に、日本の()割をこえる人々が生活している。

2 多くの人口を引き寄せる東京

1) 東京の特徴

- ・日本の()の中心。→ 国会議事堂、最高裁判所、多くの官庁が集中。
- ・日本の()の中心。→ 日本銀行、東京証券取引所、銀行の本店、大企業の本社、外資系企業が集中。
- ・日本の()の中心。→ 鉄道、高速道路、航空路線など、国内各地とつながっている。
- ・()の中心地の一つ。→ 金融や貿易などの国際的な活動が行われる。
- ・()呼ばれている。→ 各国の()がおかれ、多くの外国人が住んでいる。

2) 文化の中心地、東京

海外の有名店やレストランなどがあつまる商業施設。 博物館、美術館、劇場、展示場などの文化施設。 大学などの研究・教育施設。 放送局や新聞社、出版社のメディア。
--

などが集中している。

東京の中心部は、高層ビルが立ち並び、高架の高速道路や地下鉄が網の目のように張りめぐらされている。
→ 地価が高く広さも限られている中心部を、地上も地下も有効に活用するための工夫。

③ 東京大都市圏の拡大と都市

1)

東京大都市圏は、都心から放射状にのびる()に沿って、周辺の県まで広がっている。

→ 東京大都市圏の主要な都市 神奈川県()市、()市) 埼玉県()市)、千葉県()市) など。

東京の中心部は、高度経済成長の時期に人口が集中し、()が上がり、住宅地が不足するようになった。

→ 中心部に比べて()の安い、東京の郊外や周辺の県に、人々に移り住むようになった。

→ 千葉県の()など。

地価とは、土地の価値のこと。つまり、地価の高い土地を買うときは、たくさんのお金がいるということ。

2) 東京について人口の集まる横浜

横浜市：全国第()位の人口を持つ大都市。

江戸時代中期まで小さな漁村だったが、江戸時代末に()港が開かれる。

→ 現在は、日本を代表する国際貿易港に発展。

臨海部の「()」地区は、昔、造船所だったところを中心に再開発が行われ、現在は国際会議場や美術館、商業施設など作られた。

④ 人口集中による都市問題とその対策

1) 人口が集中することによる問題

交通渋滞、通勤時間帯のラッシュ、ごみの増加、騒音、大気汚染、水質汚濁などの()問題。

→ 国や市町村が法律や条例で規制したことで大幅に改善する。

→ しかし、それえも解決しきれない問題もある。

・()

(対策)

鉄道の本数を増やしたり、郊外からくる鉄道と中心部の地下鉄とを相互に乗り入れたりして混雑を減らす。

(結果)

それでも大混雑はなかなか解消されない。

・()

(対策)

リサイクルをしてごみを減らす対策がとられた。

(結果)

1990年ごろをピークにごみの量は増えていないが、新たなごみ処分場を建設するのは難しい。

2) 問題を解決する試み

都市問題の多くは、せまい地域に()や()が集中しすぎたことにある。
そのため、古い建物をこわして、新しい街に作り直す()が行われている。

5 関東地方の工業

1) 東京を中心とした工業地帯

()工業地帯：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県にわたる日本有数の工業地帯。

()工業地帯の歴史

()時代から臨海部に工場ができはじめ、()に急速に発展(化学、鉄鋼、機械、自動車などの大きな工場)

↓

()成長の時期に、これらの工場やその本社に就職するために、地方から多くの若者が移り住む。

(これが現在の()、()の原因の1つとなる)

↓

人口が集中すると、情報が多く集まるため、印刷・出版業が集中し、情報を各地に発信する。最近では、コンピューターやアニメーション制作などの新しい産業ものびている。

2) 北関東への工場進出

(北関東への工場進出の経緯)

東京では、人口が増加し、工場を新しくつくったり、広げるのは困難になった。

→ そこで、()県や()県などの東京から比較的近い北関東の地域に工場を移転する。

→ 北関東はもともと()工業さかんで、広い土地が安く得られ、働く人も確保しやすかった。

→ さらに、北関東の県や市町村が()をつくって工場を誘致。

→ その結果、京浜工業地帯から移転する工場が増加。

→ 北関東の工業は大発展！ ()工業地域と呼ばれるようになる。

6 大都市圏のまわりの地域のように

1) 大都市圏向けの農産物の生産

東京大都市圏は、日本最大の食糧の消費地で、大都市圏のまわりの地域がこれを支える。

()：消費地に近い地域で、野菜の生産や畜産を行う農業のこと。

メリット) 輸送費が安い、短時間で新鮮な農作物を消費地に届けられる。

()平野は、野菜生産がさかん。

()県：はくさいやピーマン ()県：ねぎやほうれんそう ()県：夏にキャベツを大量に出荷

2) 過疎地域の取り組み

群馬県上野村などでは、若い世代が大都市に移動し、()化、()化が進んでいる。

→ 村は、特産品の開発や働き口の確保、村営住宅の整備など、若い世代の働ける環境を整える。

→ その結果、都市部から生まれ故郷に戻って生活する()ターンや、

他の地方出身者が移り住む()ターンなどが増える。